



1. 開催概要

令和 2 年 12 月 14 日 Web 開催 (Zoom)

参加委員: 千葉一裕, 山田宏, 平林茂, 折田純久 (委員長), 加藤 真介, 川口善治, 高橋 寛, 根尾昌志, 長谷川 和宏, 橋爪洋, 中嶋秀明, 藤田順之
杏林舎: 田村, 中山, 小嶋

2. SSRR 報告事項

① 2021 年第 5 巻より年 6 回発行 (1, 3, 5, 7, 9, 11 月) に変更

(現在: 創刊 2017 年 年 4 回発行, 現在第 4 巻 4 号まで発刊済)

② 初回査読終了までの期間 (2020/1/1 ~ 11/15)

・ 初回査読終了日数: 15 日 (2019 年 平均 22.5 日)

・ accept までの平均日数: 46.8 日

③ 杏林舎より報告

A. 2020 年の投稿・被引用状況 (2020 年 12 月 4 日現在): 投稿数 205 件, うち採択論文数 63 件 (採用率 35%, Review article 15, Original Article 33, Technical Note 2, Clinical Correspondence 18, Letter to the Editor 3).

B. 2020 年の特徴

・ 2020 年始より投稿件数は増加傾向にあったが, 新型コロナ禍に伴う自粛期間を通じて倍増した.

・ PubMed での論文検索数 (2019 年 8 月 PubMed 掲載): 928 件 (2019 年 8 月) → 4,920 件 (2020 年 10 月) と PubMed 経由での検索が増えている.

C. IF 申請の現状

・ 現在 Clarivate Analysis に申請中であるが, こちらからの積極的な問い合わせはできないため回答待ち. 暫定的な Impact Factor は現在 0.6 であり, 引き続き被引用の促進をアピールしていく必要がある. ただし自己引用 (SSRR 誌から SSRR 誌への引用) は現在 18% 程度. 20% を越えると組織的な企みとして警戒される可能性があるため, 注意が必要

D. MEDLINE 申請状況

申請中 (2020 年 8 月申請). MEDLINE に掲載されれば, In press の論文も PubMed 上で検索が可能となる.

3. 審議事項

① Preprint* に対する対応について

*Preprint (査読前の原稿や、rejectとなった原稿をインターネット上にアップロードすることでプライオリティを示した論文であり、DOIも付与されることから正式な出版物ではないもののひとつの業績として扱われる)としてすでにインターネット上で検索できる状態にある論文

・SSRRでは現状で二重投稿扱いとして認めていない

・Preprintサーバーは複数あり、提携する出版社への論文投稿段階でデータ共有サービスへのオプションとして著者自身も気づかずに承諾、論文がrejectされた場合Preprintサーバーに掲載されてしまうことがある。出版界ではおおよそ半数程度の雑誌(Nature含む)がpreprintを条件付きで許容する方針となりつつあり、今後もその傾向は進むものと思われる。

・SSRR誌でも他誌に先駆けての条件付き採用(採用後は掲載雑誌の情報を必ずpreprintに併記する、など)を提案する声も上がったが、本邦の代表的な整形外科領域の英文誌であるJournal of Orthopaedic Science (JOS)はpreprintの投稿を一律不可としていることから、SSRR誌でも当面はその方針に従いつつ、適宜条件付きでの受け入れについて検討する方針となった。

② 投稿・被引用を促進するための方策

・杏林舎より脊椎脊髄外科研究の各ジャンルで引用されている著者リストを作成し、委員会にて検討の上委員会名義にて執筆依頼することとなった。なお、創刊時に委員より推薦執筆者を募りReview articleの執筆依頼を行ってきたが、おおよそ当時の対象者による執筆は終えたことから、再度リストアップを行ったうえで新たなReview article執筆依頼も併せて検討する方針となった。

・各委員より特集号企画を募り、DE内もしくは推薦された医師に特集号のEditorとなって頂き、著者選定を進めていく(指名著者に対して執筆依頼。査読はありとするが採択前提)。2021年7月もしくは9月発刊号での実現を目指す。

③ その他

・海外、特にインドからの投稿が増加している。ただし一般的には多くの投稿を見込む中国からの投稿は少ない。この原因を分析し海外からの投稿促進の対策を考える必要がある。

・各DEの採用率と全体の平均をそれぞれのDEに示し、各DEの今後の参考とする。

④ 次回会議について

第50回脊椎脊髄病学会前(4月中旬頃)にWeb(Zoom)にて開催する方針となった。